

公共交通

地域公共交通の充実を

要望を聞きながら取り組む

／総務課長

げるバス停を作れないか。



やました いっこ 議員
山下 伊都子

問

空白地域に公共交通の充実を長年質問してきた。やっと今年から念願がかなって試験運行ではあるが市野々川、川奥地域にバスが走るようになった。関係地域では大変喜んでいいる。バスが走りだしても、利用者が少なかつたら廃止にならないか心配もある。試験運行で課題は見えてきたか。運賃が高く利用できないところもある。安くならないか。また、待ち時間が長く休憩場所がないので、雨風がしの

答

松田 総務課長

現在市野々川地区を月水金、川奥地区を火木土の一日3便で1月17日から運行を開始している。3月5日までの乗車人数は、市野々川地区が22名、川奥地区が7名と少ないが、空白地域解消の取り組みをしている。

試験運行なのでアンケートを実施して79・4%回収している。これからも要望を聞きながら取り組んでいく。運賃は近隣市町村を参考にしながら考えていきたい。

福祉計画

安心して

暮らせる計画を

ふれあいサロンを計画
／健康福祉課長

問

23年度に地域福祉計画が策定される。安心して地域で老後暮らせる福祉計画でなければならぬ。佐賀地域は宅老所がなく、何日も誰とも話をしていないお年寄りがいる。一人ぼっちのお年寄りをなくするためにも宅老所が出来るか。また、在宅で介護をしている家族は休まる時がない。お互いに悩みなどが話せる交流の場がもてないか聞く。

答

矢野 健康福祉課長

地域福祉計画は平成23年度の計画策定に向けて進めている。本年1月17日に、黒潮町社会福祉協議会に策定業務委託している。

この地域福祉計画は、地域福祉を推進するために定める

もので、町民の皆さんが互いに支え合う地域を作り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような町づくりを目指す指針を策定するものです。

また宅老所等の整備は、平成23年度に高知県ふるさと雇用再生あつたかふれあいセンター事業を導入し、拳ノ川の国保保険福祉支援センター「こぶし」の2階の居宅部分を利用してふれあいの場をつくることにしている。このあつたかふれあいセンターの事業目的では利用者が自由に日中楽しく過ごせる交流の場を



老化を遅らせる!! 蜷川体操教室7年目

確保し、外出サービスや買い物支援などのサービスを行う。また、高齢者の介護予防、生きがい作りとして取り組む。